

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-003395

(43)Date of publication of application : 07.01.2000

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06K 17/00

H04Q 7/14

(21)Application number : 10-179586

(71)Applicant : TOPPAN FORMS CO LTD

(22)Date of filing : 11.06.1998

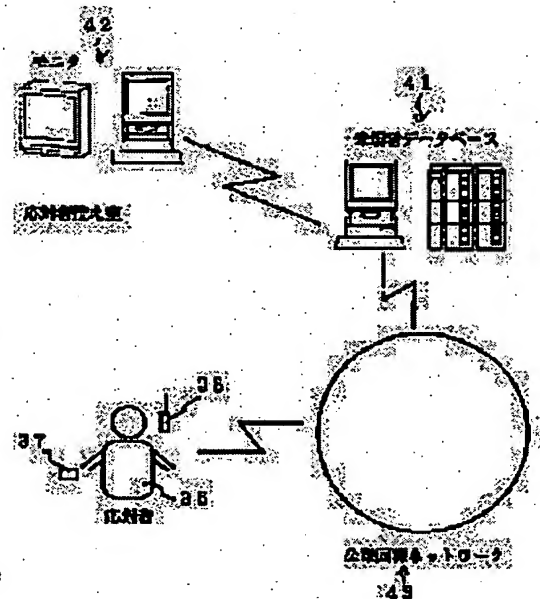
(72)Inventor : SHIMIZU KOJI

## (54) ATTENDANCE MANAGEMENT SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system which can surely perform quick reception management to attendants.

SOLUTION: This system comprises a process for registering a person in charge of reception where the person in charge of reception 35 to each attendant, a callout number of communication equipment such as a portable telephone 36 of the person in charge of reception 35 or a pocket bell 37 which are made to correspond to a data base are registered in advance and an attendant input specification process for inquiring a data base 41 so as to retrieve the person in charge of reception when the visitor performs attendance reception and for specifying the attendant. Thus, the designated person in charge of reception 35 is called by dialing the callout number of the communication equipment such as the corresponding portable telephone 36 or the pocket bell 37 when the attendants arrive.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.05.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-3395

(P2000-3395A)

(43) 公開日 平成12年1月7日(2000.1.7)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	Z 5 B 0 4 9
G 0 6 K 17/00		G 0 6 K 17/00	L 5 B 0 5 8
H 0 4 Q 7/14		H 0 4 B 7/26	1 0 3 C 5 K 0 6 7

審査請求 未請求 請求項の数2 F D (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-179586

(22) 出願日 平成10年6月11日(1998.6.11)

(71) 出願人 000110217

トッパン・フォームズ株式会社

東京都千代田区神田駿河台1丁目6番地

(72) 発明者 清水 孝司

東京都府中市天神町3-7-30

Fターム(参考) 5B049 BB49 CC13 DD02 DD04 FF08

GG02

5B058 CA15 KA13 YA01

5K067 AA21 BB22 CC12 EE02 EE16

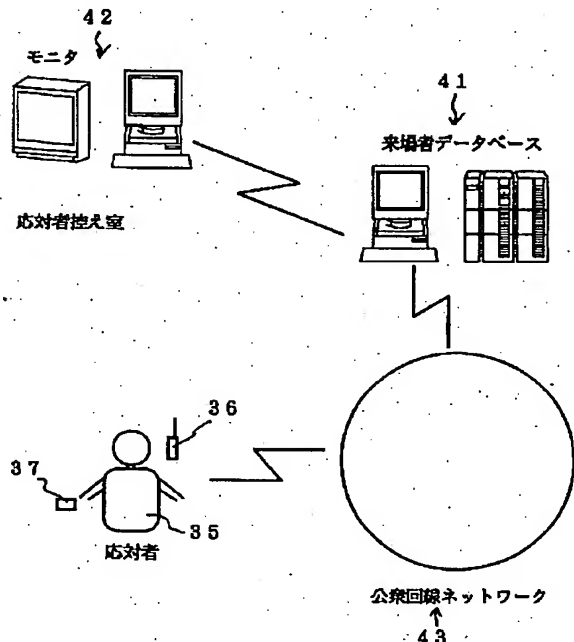
FF13 FF22 KK15

(54) 【発明の名称】 来場管理システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 来場者に迅速な対応管理を確実に行なふことが出来るシステムを提供する。

【解決手段】 各来場者に対応担当者35、及び対応担当者35の携帯電話36、又はポケットベル37等の通信機の呼出し番号をデータベースに対応づけて予め登録する対応担当者登録工程、来場者が来場受付をした際、対応する担当者を検索するためにデータベース41に問い合わせる来場者を指定する来場者入力指定工程、これでヒットした対応担当者35に公衆回線ネットワークを介して、対応する携帯電話36、又はポケットベル37等通信機の呼出し番号にダイヤルし、来場者の到着をして対応担当者35を呼び出す。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の来場者と各来場者に対応担当者、及び対応担当者の携帯電話、又はポケットベル等の通信機の呼出し番号をデータベースに対応づけて予め登録する対応担当者登録工程、来場者が来場受付をした際、来場者に対応する対応担当者を検索するために前記データベースに問い合わせる来場者を指定する来場者入力指定工程、この来場者入力指定工程でヒットした対応担当者に対応する携帯電話、又はポケットベル等通信機の呼出し番号にダイヤルし、音声、又は文字等により対応担当者10 に来場者の到着を通知する来場者通知工程を有して来場者へ自動で対応担当者呼び出すことを特徴とする来場管理システム。

【請求項2】 前記来場者入力指定工程における来場者の指定は、前記対応担当者登録工程で各来場者に予め各来場者を特定する識別コードを付し、データベース化し、来場者が来場受付をした際、前記データベースに識別コードを入力することを特徴とする前記請求項1記載の来場管理システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、IC回路を内包したICカードやICラベル、あるいはデータの送受信を行うアンテナ部とIC回路を基材シート内に内包しデータの書き込み／読み出しが行えるICカードやICラベルを利用し、各種ショー会場、展示会、遊戯場等のイベント会場での来場管理システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年、各種ショー会場、展示会、遊戯場等のイベント会場は、規模が拡大されそれら会場での来場者受付は、受付側にとっては、非常に複雑であるとともに来場者も受付処理時間や会場内で対応時間が長い15 ため非常に煩わしいものであり全体として来場者へのサービスが十分ではなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】特に、受け付け時は、混雑する上、重要な顧客の場合や案内を必要とする顧客が来場しても迅速に担当者が対応出来なかった。本発明は、これらの欠点を改善するもので、来場者の来場時や会場内の所定の場所で来場者に迅速な対応管理を確実に20 行ない、予め設定された対応担当者を迅速に呼び出し、配置につかせることが出来る来場管理システムを提供することを目的とするものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の来場管理システムは、上記目的を達成するために、複数の来場者と各来場者に対応担当者、及び対応担当者の携帯電話、又はポケットベル等の通信機の呼出し番号をデータベースに対応づけて予め登録する対応担当者登録工程、来場者が来場受付をした際、来場者に対応する対応担当者を検索す25

るために前記データベースに問い合わせる来場者を指定する来場者入力指定工程、この来場者入力指定工程でヒットした対応担当者に対応する携帯電話、又はポケットベル等通信機の呼出し番号にダイヤルし、音声、又は文字等により対応担当者に来場者の到着を通知する来場者通知工程を有して来場者へ自動で対応担当者呼び出すようにした。

【0005】また、前記来場者入力指定工程における来場者の指定は、前記対応担当者登録工程で各来場者に予め各来場者を特定する識別コードを付し、データベース化し、来場者が来場受付をした際、前記データベースに識別コードを入力することでより迅速な対応が出来る。

## 【0006】

【発明の実施の態様】次に、本発明を図1から図6に示す実施例に基づいて詳細に説明する。図1は、本発明の来場管理の全体フロー説明図、図2は、本発明の来場管理システムの概念説明図、来場管理における招待者事前フロー説明図、図4は、来場管理における受け付け処理フロー説明図、図5は、本発明の来場管理システムで使用される非接触式ICカードの平面説明図、図6は図5のX-X線断面説明図である。

【0007】本発明のシステムの説明に先だって、本発明で使用される非接触式ICカードを図5、図6に基づいて説明する。非接触式ICカード1は、非接触方式でデータの送受信を行うアンテナ部2と情報記憶部を有するIC回路3を基材シート4内に内包し、この基材シート4の表裏面に5、6のシートで挟持してなる上質紙または筆記適性をもたせた樹脂でサンドイッチされている。特に少なくとも5、6を樹脂で形成した場合には表面の印字部は、少なくともトナー印字適性を持たせるため各種樹脂や導電材による表面コートが施される。例えば、ノンインパクトによるトナー印字の際、転写性を向上させるために導電材を塗工し、カード表面の抵抗値を1.0×10の11乗オーム以下に設定したり、あるいは、トナーの定着性を向上させるために各種の樹脂を塗工し、アンカーコート層を形成することにより、トナーの印字適性を向上させることができる。

【0008】また、表面には、耐熱インクを塗布してもよく、この耐熱インクのうち少なくとも黒インク等で印字欄や模様等が構成される場合は、カーボンレスインクで構成されてなるものである。これにより、カード表面へのノンインパクト（静電写真印刷）によるトナー印字の際、黒印刷部の蓄熱を防止でき、IC回路3を熱圧からの影響が回避できる。

【0009】また上記耐熱インクは、UVインクが、使用されており、UVランプ等により乾燥されてなるもので、カード表面へのノンインパクトによるトナー印字の際、印字部のインクが溶けることなく安定した印字が行えるとともに、印字部の内面側のIC回路3を熱圧から保護できる。

【0010】次に来場管理における招待者への事前準備と、来場当日の受付フローを図3、図4の基づいて説明する。図3に示すようにまず、主催者側20が来場者管理データベース24から、あらかじめ来場者側の各来場者25を識別するためのバーコードによる識別コード23を付し、宛名22を印字して案内状や招待状21を発行する。次に来場者25が前記案内状や招待状21をショー会場26に持参してもらうようにする。また、来場者管理データベース24には複数の来場者25と各来場者25に應對担当者35、及び應對担当者35の携帯電話36、又はポケットベル37等の通信機の呼出し番号をデータベースに對應づけて予め登録されている。

【0011】そして、まず図4に示すように来場者25の来場受付の際、この案内状や招待状21の前記表示された識別コード23を読取り装置27で読込む(ステップ51)。そして非接触式でデータの送受信を行うアンテナ部と情報記憶部を有するIC回路を基材シート内に内包してなるICカード10に前記読取り装置27で読込取った前記識別コード23を書き込み装置28非接触状態で書込む(ステップ52)。更に、このICカード10と案内状や招待状21をネームカードとして来場者25に携帯させる(ステップ54)。この間、来場者25も、主催者側20も何ら申込用紙への記入や受付用紙類への記入が一切介入しないので、瞬時に来場者受付が行える。

【0012】一方、来場者25の来場受付における案内状や招待状21の前記識別コード読込みの際、主催者側20の来場者管理データベース24に適宜なデータ転送手段により来場者登録をすることで簡単に来場者の登録も行える(ステップ55)。

【0013】また、来場者の受付の際、主催者側20は、来場者25にICカード10を携帯させる手段として、来場者25から名刺を預かり、名刺の表面に来場者を特定するコード(バーコード)を貼付すると共に、このコードを書込んだICカード10を、このICカードともに携帯してもらう。(ステップ53)。次に前述の如く、このICカード10付き来場者表示物(名刺)を来場者に表示携帯させるようにする(ステップ104)。

【0014】このように来場者から預かった案内状や招待状21又は名刺と共にICカード10を、来場者に携帯させることにより、来場者に非接触式ICモジュールを内蔵したICカードを簡単に携帯させることができるので、イベント会場内での来場者行動データやアンケート集計等が非接触式でデータの送受信が行え、来場者の行動データやニーズ等の分析のためのデータが容易に入手できる(ステップ56)。

【0015】本発明の来場管理全体のフローとしては、図1に示すようにステップ101は、図3、図4で説明して通りであるが、このステップ101で入場処理が行

なわれて来場者のコードが読取られた時点で、前述した通り、本発明の来場管理システムは、複数の来場者25と各来場者25に應對担当者35、及び應對担当者35の携帯電話36、又はポケットベル37等の通信機の呼出し番号をデータベース(来場者管理データベース24は、本部に設置されたデータベースで会場内には来場者データベース41が準備され同じデータが蓄積されている)に對應づけて予め登録する應對担当者登録工程が要件であり、ここで図2に示されるように、来場者25が来場受付をした際、来場者25に對する應對担当者35を検索するために前記データベース41に問い合わせて来場者25を指定する来場者入力指定工程、この来場者入力指定工程でヒットした應對担当者35に公衆回線ネットワークを介して、對する携帯電話36、又はポケットベル37等通信機の呼出し番号にダイヤルし、音声、又は文字等により應對担当者35に来場者の到着を通知する来場者通知工程を有して来場者25へ自動で應對担当者35を呼び出せるようになっている(ステップ102)。

【0016】一方来場者データベース41があらかじめ應對設定がされている場合、その設定に基づいて應對者35(應對担当者、来場管理者)の控え室のモニターに来場者25(顧客)が到着した時刻と伴に表示させる。

【0017】次に入口では、ICカード10を携帯した来場者へICカード10内に記録されているコードが、入口に設置されたリーダに読み込まれ、来場者データベースが對する来場者名を検索し、設置したディスプレイに『〇〇さんようこそ!』という歓迎の表示がされる(ステップ103)。さらにその時、このリーダが読み込んだ時間を入場時間としてデータ登録し、来場者データベースへ転送する。

【0018】そして次のステップ105~108迄は順序が不特定であるが便宜的に105からあったものとして説明する。先ず、ステップ105は、本発明を含むものである。前述したように来場者には、各来場者を識別するための識別コードを記録してICカードを携帯させることになっているが、さらに来場者であることを認識するコードも書込まれるようになっている。

【0019】そして、應對者(来場管理者35)にもICカードを携帯させることになっており、来場管理者35であることを認識するコードと、各来場管理者35を識別するための識別コードが記憶されたICカード30を複数の来場管理者35に携帯させると共に、来場者25であることを認識するコードと、各来場者25を識別するための識別コードが記憶されたICカード10を複数の来場者25に携帯させる手段、会場内にて来場應對時に複数の来場者25、複数の来場管理者35の内、少なくとも1人の来場者25と1人の来場管理者35が前記ICカード10、30に記憶されたコードに基づいてICカード読取装置33を介して入力装置34に他の應

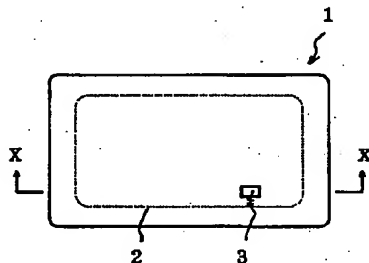
対データと共に来場者25及び来場管理者35を特定するデータ入力手段、このデータ入力手段で入力されたデータは、来場者(顧客)データベース転送され来場者対応データと来場者25に應對した来場管理者35を関連付けて来場者管理データを集計する集計手段を有してなるものである。

【0020】ICカード読取装置33では、来場者25と来場管理者35のICカード10、30を同時に近付けただけで、どの来場者25と、どの来場管理者35が應對しているのか瞬時に入力出来、入力装置のディスプレイに示されるように、カタログ希望、訪問希望、等必要な箇所をチェックし、順次入力すれば良く、必要に応じて、メモなども入力出来るようにすれば良い。また、来場者25と来場管理者35は、必ずしも1対1に限定されるものではなくでなく複数対複数であっても良い。

【0021】また、ステップ106では、セミナー等を会場の一部等で開催し、あらかじめ登録された参加名簿で行われ、来場者が携帯するICカード10に基づいて出欠確認が行われる。次に、各ブースに設けられたICカード読取装置により、来場者が携帯するICカード10のコードが読取られながらアンケートデータ収集が行われる(ステップ107)。また、ステップ108では、来場者に各ブースを見学した際、来場者が携帯するICカード10にポイントデータ記憶させ、ここでゲーム参加特典や飲食等のサービスを与えるようにしている。

【0022】次のすステップ108の退場処理は、110で示すように、来場者が携帯していたICカード10をお土産等と引き替えに回収すると共に、ICカード10のコードを読み取って、対応する来場者の退場時間を登録する。また、111で示すように来場に際して、あらかじめ招待状などを送付してない来場者もいるので入場のさい登録されたデータに基づき来場者データベース追加登録される。そして顧客は、退場する。

【図5】



\*【0023】上記において、回収されたICカード10には、各ブースで滞留した時間データが記録されるようにしておけば、アンケートデータ等を含め、各ブースが顧客データ(ICカード10のコードを読み取って)吸い上げるのに比較して、きめ細かなデータ管理、分析が行え、システム全体の負荷が軽くなる。

## 【0024】

【発明の効果】本発明の来場管理システムは、以上説明した構成により、来場者の来場時や会場内の所定の場所で来場者に対応する應對担当者を瞬時に呼び出し、配置につかせることが出来る、各種ショー会場、展示会、遊戯場等のイベント会場で来場者にきめ細かな應對管理ができる来場管理システムを提供でき産業上極めて有用な効果を奏する。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の来場管理の全体フロー説明図。

【図2】本発明の来場管理システムの概念説明図。

【図3】来場管理における招待者事前フロー説明図。

【図4】来場管理における受付処理フロー説明図。

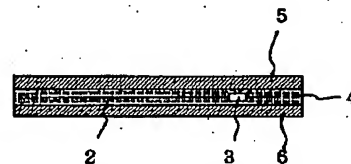
【図5】本発明の来場管理システムで使用される非接触式ICカードの平面説明図。

【図6】図5のX-X線断面説明図。

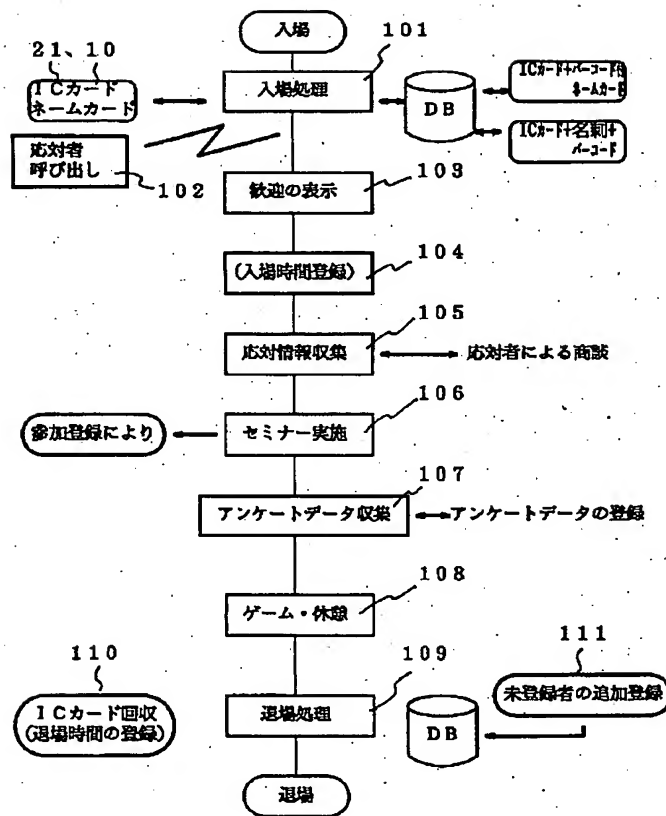
## 【符号の説明】

- 1 非接触式ICカード
- 2 アンテナ部
- 3 IC回路
- 10 ICカード
- 25 来場者
- 35 来場管理者
- 36 携帯電話
- 37 ポケットベル
- 41 来場者データベース
- 42 モニタ
- 43 公衆回線ネットワーク

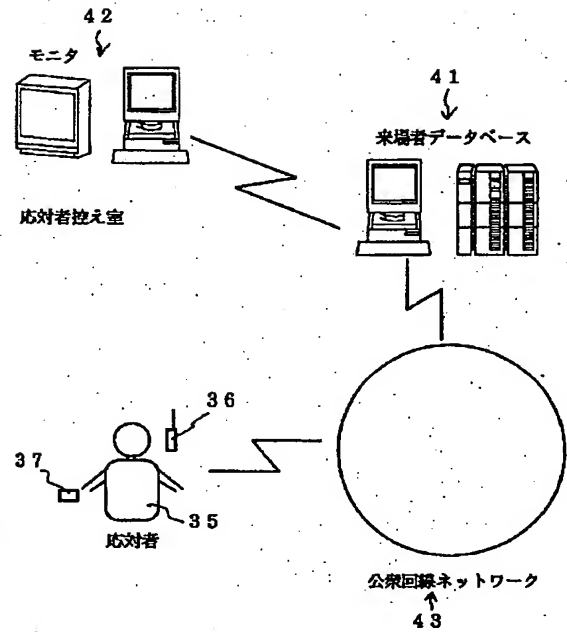
【図6】



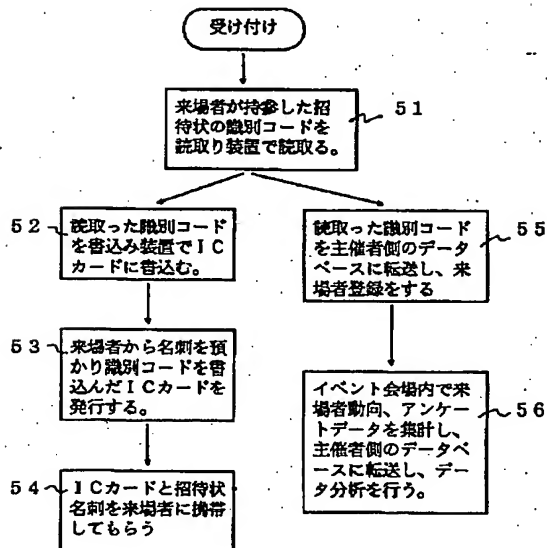
【図1】



【図2】



【図4】



【図3】

